

米工だより

山形県立米沢工業高等学校

平成23年4月29日第1号

発行 校長 大津 清

新たな年度始まる

この4月に本校に赴任しました校長の大津清です。ものづくりと部活動の文武両道で頑張っている生徒の皆さんの姿に感動しています。さらに光輝く活躍により活気あふれる学校になるように、全力を尽くしてバックアップをしたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

これから素晴らしい学校にするために、皆さんとともに、一緒に考えていきたいと思えます。そこで、「米工だより」として便りを発行していきたいと思えます。

「米工」という文字は、本校の校章にも使用されています。校章の中心にある米の字は、学校の所在地の米沢を示しています。その米の字を中心として四隅にある四つの工の字は、工業を四方に発展させて、広く日本や世界の人々のために貢献しようという願いが込められています。その理想は、校歌にあるように「工業報国 我らの理想」です。

本校は、この米工をシンボルとして、これまでに先輩方や教職員の方々が輝かしい歴史と伝統を培ってまいりました。

「米工」の意味は、米沢工業高校にとって大きな意味をもつものです。

どうぞ「米工だより」をご覧ください。

さて、新しい平成23年度が始まり、新たな目標を持って取り組んでいることと思えます。夢と希望を抱いて、その目標に向けて一步一步努力してください。今年は飛躍の年になるように、期待をしています。

田中好子さんのメッセージ

「キャンディーズ」のメンバーであった女優田中好子さんのメッセージが先日テレビで報道されていました。亡くなる3週間前に、病室で録音されたものです。震災の被災者の力になりたいという思いや感謝の気持ちを伝えたものでした。彼女は「懸命に前を向いて病魔と闘い、笑顔で過ごすことを心がけていた」(山形新聞 2011/4/24)

「きょうは3月29日、東日本大震災から2週間が経ちました。被災された皆様のことを思うと心が破裂するように痛み、ただただ亡くなられた方のご冥福を祈るばかりです。私も一生懸命、病氣と闘ってきましたが、もしかすると負けてしまうかもしれません。そのときは必ず天国で被災された方のお役に立ちたいと思えます。

キャンディーズでデビューして以来、本当に長い間お世話になりました。幸せな、幸せな人生でした。心の底から感謝しています。

映画にもっと出たかった。テレビでももっと演じたかった。もっともっと女優を続けたかった。

いつの日か、義妹夏目雅子のように支えてくださった皆様に、社会に少しでも恩返しできるように復活したいと思っています。その日まで「さようなら」弱々しい声で被災者に思いを寄せて話している様子に胸が痛みました。

東日本大震災は1000年に一度の大変な災害です。

私たちに、そして自分にできることは何でしょうか。

一体何をすべきなのでしょう。

目標を持って、誠心誠意、ベストを尽くそう